

STEP X SKINS

BEYOND REASON™

SkinsでNAHAマラソンを走る！



長い距離を走った後に、充実感とともにやってくる、筋肉痛。あの苦しみが抑えられるときいて今回、編集部はレース用ウェアに〈SKINS〉を選んだ。

「着るサプリメント」とよばれる、オーストラリア生まれの話題のスポーツアンダーウェアだ。このロングタイツは、足首から腰部分の段階的着圧が血行を促進、マッサージ効果を生む。しかも、名前の通り、着心地は肌のように。ぴったりしているのに、着ていることを忘れてしまう快適さ。そのため、スポーツ中はもちろん、就寝中にも着用できるのだ。

早速、行きの飛行機から使ってみる。足の血流が悪くなるのが、気持ち悪くて、飛行機ではじっと座ってられないタイプの編集長、白滝もこの日ばかりはお行儀よく移動ができた。全く足がむくまないのだ。今ではその効果を頼りに

長時間のデスクワークに愛用している。(パンツスタイルで着用すれば、バレませんよ！)

そして、レース。フルマラソンは同じ動作の繰り返し。後半になるに従って、筋肉のポンプ作用は弱まり、足は重くなる一方なのだが、30キロすぎも次の一歩が軽かったとは、編集部、大島の意見。なんと彼女は、今回が初マラソンなのだが、見事完走。しかも南国のマラソン大会だけあって暑かったのだが、〈SKINS〉のドライ効果のおかげで、全く汗が気にならなかったという。タイツを脱いだ後の肌もさらさらしていた。

また大阪の友人、津田さん(写真下、一番左)に会ったら、自己ベストを更新したと嬉しい報告！見ると腕には、〈SKINS〉のパワースリーブが…。このおかげで腕の振りが改善され、その結果、タイムの短縮につながったそうだ。なんとも、羨ましい話である。

でも、一番の効果は、レース後に現れる。大会当日、〈SKINS〉を着用して就寝した。すると、マッサージに行ったわけでもないのに、翌朝、疲労が激減しているのではな

いか？いつもなら足をひきする朝なのに、首里城の階段さえも楽々と上れる。痛くない。リカバリーアイテムとしての効果を身(足)をもって感じた。おかげで、レース以外の観光も移動も快適に！心に残る旅となった。



SKINS. の信頼



■ APA
Australian Physiotherapy Association
(オーストラリア理学治療協会)

1906年設立。会員11,000人を有する理学治療士がメンバーとなり、リハビリや怪我予防などを研究する協会。Skinsは唯一「コンプレッションアンダーウェア」として承認を受けている。



■ AH
Aviation Health (英国航空健康協会)

1996年設立。飛行機内で快適に過ごすための研究をしている非営利団体機関。Skinsは唯一、機内を快適に過ごす「コンプレッションアンダーウェア」として承認されている。